

# R2年度 筑前地区新人バレーボール大会新型コロナウイルス感染症対策・熱中症対策について

筑前地区中体連バレーボール専門部長

## I 参加に当たっての遵守事項及び事前の準備物について

- (1) 各チームの顧問は、必ず各学校が定める校外指導計画書等を自校校長に事前に提出し、参加の許可を受ける。
- (2) 本大会に参加する生徒は、事前に筑前地区中体連が配付した「参加同意書」に必要事項を記入し、保護者が押印の上、顧問に提出すること。顧問は自校校長に提出し許可を得ること。
- (3) 本大会に参加する生徒は、感染症対策により、ベンチ登録メンバー（12名）とマネージャー（1名）及び大会を支える生徒役員のみとし、その他の生徒は本大会には参加できない。
- (4) 無観客試合とする（保護者等の応援はできない）。
- (5) 参加する生徒は、当日の朝、以下の症状がある場合は参加を控えること。「体調記録表」に記入を済ませ、確実に各顧問が検温や体調等の健康観察の確認を行い、異常が認められない生徒のみを参加させること。また、**顧問や外部指導者、試合前2週間分の「体調記録表」を提出すること。**

- ① 体調がよくない場合。（例：発熱・席・咽頭痛などの症状がある場合）
- ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
- ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、及び地域への渡航歴、又は在住歴がある者との濃厚接触がある場合。

※各チームで消毒用のアルコールスプレーや除菌シート等の消毒剤を必ず持参し、こまめな消毒ができるように準備しておくこと。自チームの用具の消毒は、各チームで行えるよう消毒剤の準備しておくこと。

※会場や試合に関わる消毒剤については、専門部で準備する。

※試合途中に、参加生徒が怪我をしたり体調不良になったりした場合は、早退をさせることも考えられるので、保護者への緊急連絡表等を準備し、速やかに保護者に連絡がとれるようにしておくこと。

※審判が使用するホイッスルは、電子ホイッスルとする。

※フロアを拭く汗拭きタオルと消毒用に使うタオル（ぞうきん）は、必ず別のものを多めに準備すること。

各チームの準備物		事前✓	当日✓
①	大会申込書（校長の職員の押印済みのもの）		
②	参加同意書（顧問を通じ大会前日までに自校校長へ提出）※当日は会場に持参の必要はない。		
③	試合前2週間分の体調記録表（生徒・指導者用）（学校保管用）（顧問が保管）		
④	体調確認表（大会当日提出用）1部 ※学校保管用登録選手全員分を転記する。		
⑤	消毒用アルコールスプレー等の消毒剤（手指用・器具用）		
⑥	消毒用ぞうきん（タオル等の布）（5～6枚程度）		
⑦	手洗い用ポンプ式石けん1～2台		
⑧	床拭きタオル（3～4枚程度）		
⑨	参加選手保護者緊急連絡先一覧表		
⑩	シューズバッグ（玄関には一切靴は置けないので生徒・指導者は必ず持参すること）		
⑪	個人用衛生バッグ（タオルやマスクを自己管理する袋又はバッグ）（飛沫接触を避けるため）		
⑫	マスク（予備も含めて各自2枚以上準備すること）		

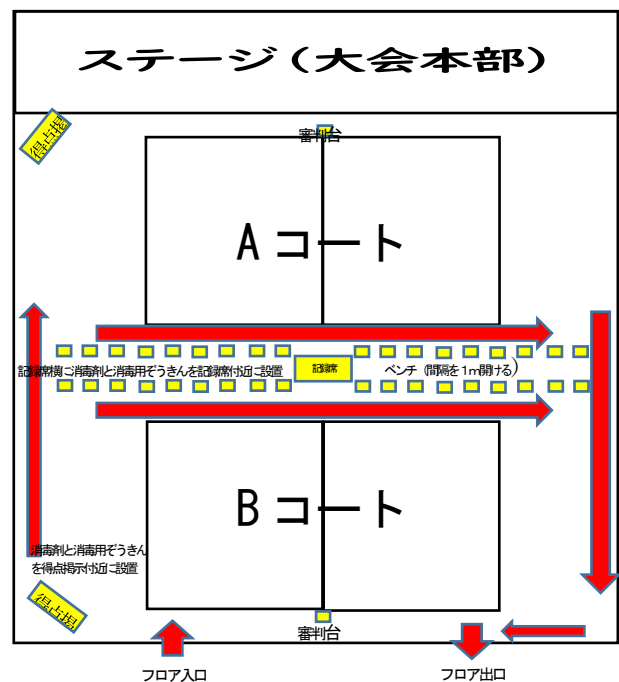
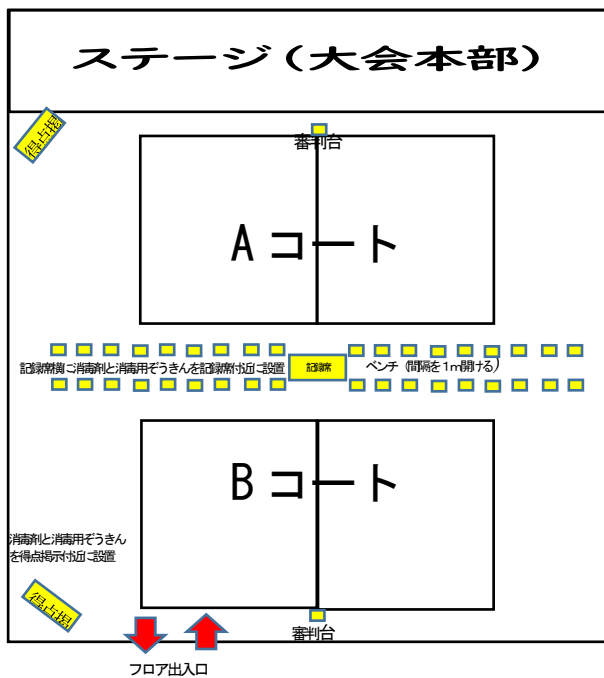
※各自や各学校が準備する試合用の道具は、この一覧表の中に含まれていないので、各学校で必要な道具を準備する。

感染症対策に伴う専門部の準備物(各会場に必要な個数)							
	物 品	事前✓	当日✓		物 品	事前✓	事前✓
①	アルコールスプレー(手指消毒用)3台			②	消毒用ぞうきん 20 枚程度		
③	手洗い用ポンプ式石けん (手洗い場2,トイレ2)			④	ペーパータオル 10箱		
⑤	ゴミ箱 大型のポリバケツ 2個 (使用済みペーパータオル入れ) (ゴミ袋を内側に設置)			⑥	手洗い場,トイレ,控え室の指定及び掲示 トイレと手洗い場の個数分 (ふたを閉めて流す・手洗いは30秒以上)		
⑦	救護用フェイスシールド 3枚			⑧	救護及び清掃用ビニール手袋1箱		
⑨	非接触型体温計1台			⑩	「体育館下足入れ使用禁止」 「下靴はシューズ入れへ」の掲示 (必要枚数分)		
⑪	感染症対策に関する掲示物 3枚 (体育館出入口,控え室入口,フロア出入口に拡大して設置)			⑫	トイレ消毒スケジュール表 1枚		

## 2 会場図及び入退場について

【男子会場図: 新宮東中学校】

【女子会場図: 新宮中学校】



※出入り口での「密」を避けるために、以下の対策を取る。

### 【男子会場】

- ①フロアの出入り口が1カ所しかないため、試合が終わったチームが大会役員の指示に従って、退場し、すぐに手洗いを行う。
- ②前試合のチームが完全に退場するまで次の試合のチームは入場できないので、控え室で待機しておく。
- ③出入り口付近の混み具合が解消された時点で、大会役員が次の試合のチームを控え室に呼びに行き指示に従って入場する。

- ④入場後、両チームの準備が整った状態になったら5分間の合同練習の開始の合図を審判員が出す。その後、練習を始める。入場してすぐに練習を始めない。

#### 【女子会場】

- ①フロアの出入り口が2カ所あるので、入口と出口を分ける。
- ②入場するチームは入口付近で大会役員の指示に従って密にならないよう間隔をとって待機する。
- ③試合が終わったチームは、ステージに向かって右側のコートのフリーゾーンの壁に沿って退場する。退場後速やかに手洗いをを行う。
- ④退場する両チームが完全に退場したのを確認し、大会役員の指示に従って次の試合のチームがフロアに入場する。
- ⑤入場後、両チームの準備が整った状態になったら5分間の合同練習の開始の合図を審判員が出す。その後、練習を始める。入場してすぐに練習を始めないこと。

### 3 感染症対策について

#### (1) 朝の各学校集合時について

参加チーム(生徒補助役員も含む)の顧問は、自校で選手が集合する際に、以下の手続を取る。

- ①体調記録表(「学校保管用」事前の2週間分のもの)を生徒から回収。
- ②体調記録表(大会当日提出用)に転記。体調に異常が認められる生徒は帰宅させる。

※試合会場集合には絶対にせず、自校で集合して体調のチェックを必ず顧問が責任をもって行うこと。

#### (2) 受付時について

- ①体育館1F入り口に受付を設置し、参加校の顧問は体調記録表(生徒大会当日用)と大会申込書を提出する。
- ②外靴は下足入れに入れずに、各自のシューズバッグに入れて控え室で保管する。
- ③選手は係の指示に従って控え室でマナーチェックを受ける。
- ④顧問(指導者)の最低1名は1日を通して、選手と共に控え室で待機し、控え室での選手の行動をコントロールし、「密」を避けながら飛沫拡散防止・手洗い・入退場等の指導を大会役員と共にを行う。ステージ上は基本的に大会役員の待機場所とする(ステージ上の密を避けるため)。

#### (3) 練習中の対策について

- ①選手とボールを打って指導する指導者に限って、マスクを着用しなくてよい。ボールを打たない指導者はマスクを着用すること。
- ②練習中は衛生バッグをコートに持参し、マスクやタオルの収納ができるよう各自準備しておくこと。
- ③練習が終わり次第、マスクを着用すること。

#### (4) フロア等への入退場の対策について

練習や試合の入退場の際は、大会役員の指示に従って、密にならないように行う。入退場の際、各チームの指導者は必ず選手に同伴し、密を避ける対策や手洗い、消毒等の感染症対策を大会役員とともに指示し、選手の行動を管理すること。選手は必ずその指示に従うこと。

#### (5) 試合中の対策について

- ①試合前などの円陣をしておのかけ声等は禁止する。
- ②ベンチでの集合時などもできるだけ密集・接触をさける。
- ③競技中のハイタッチはせず、腕(肘)のタッチにとどめる。
- ④ネット際等で、相手に顔や体を向けた状態での発声は控える。

- ⑤タオル・水筒・アイシングバッグ等の共用は禁止する。特にタオルやマスクをチームでまとめて集める際は、各自専用のタオルやマスク等の私物を入れる衛生バッグを準備、保管し、飛沫拡散防止対策をとる。
- ⑥給水については、練習中や練習後、試合中のタイムアウト時、セット間、試合間等で、こまめに行い、体調管理に努めること。
- ⑦水分補給用の飲料については、選手・指導者ともに各自で準備を行い、チームでの共有は厳禁とする。クーラーボックスの仕様も厳禁とする。
- ⑧試合開始前、試合終了後のあいさつ、及びサーブ権を決める際のキャプテン同士のコイントスの際は、握手はせず、一礼をすることで代用する。
- ⑨会場のカーテンについては、直射日光が入ってくる側のカーテンのみを閉めて、反対側は必ず開けて、換気ができるようにする。なお、カーテンの開け閉めについては、専門部(会場責任者)からの指示で行うものとする。勝手に開け閉めをしない。
- ⑩競技中(練習も含む)、靴底を手でさわらない。

#### (6) ベンチでの対策について

- ①ベンチにいる生徒・指導者は試合中必ずマスクを着用する。選手交代をする可能性があるため、コート上の6人も含め、全員マスク及びタオルを入れる衛生バッグを準備し、いつでも取り出せるように準備しておく。
- ②マネージャーとコート外の6人は、基本的にベンチに座る。ベンチの間隔を1mとってイスを配置する。
- ③ウォームアップゾーン付近が密にならないように、交代前の必要な選手が必要な時間帯のみ使用する。ウォームアップエリア内での私語はしない。
- ④飛沫の飛散を防ぐために、ベンチからの応援は、拍手のみとする。声は出さない。ハイタッチなど身体接触もしないようにする。
- ⑤タイムアウト時やセット間、試合間のベンチ前でのミーティングは、密にならないように間隔をとる。

#### (7) 試合中及びセット終了後、試合終了後の消毒上の対策について

- ①各試合終了後は、必ず以下のものをアルコールスプレー又は除菌シート等で器具・トイレ・ドアノブ等の消毒を行う。
  - ㊦審判台の手の触れる部分
  - ㊧ラインジャッジフラッグの手の触れる部分
  - ㊨得点版及びイスの手の触れる部分
  - ㊩トイレ(ドアノブ・便座・洗浄レバー等)
- ②各セット終了後、及び第3セットの13点目でのチェンジコートの際、及び試合終了後には、必ず自チームが使用したベンチにあるイスを消毒してから移動すること。
- ③試合球は各コート指定した2球を試合球として専門部が準備する。そのボール以外は使わないようにする。どちらかの点数が5点、10点、15点、20点、25点になったらボールを交換し、消毒を行う。  
そのために、副審の後方にボールの消毒係を1名配置し、消毒剤と消毒専用のタオル(ぞうきん)を準備する。
- ④審判の際に使用するホイッスルについては電子ホイッスルに限る。試合終了後は必ず消毒を行う。

#### (8) 敗戦チーム又は大会終了後の対策について

- ①敗戦後、又は決勝・準決勝が終了後は、できるだけ速やかに(20分以内をめぐりに)会場を出発すること。
- ②自チームのボールやボールかご等の片付けや消毒も終了したら、控え室に戻り、着替え、忘れ物がでないように退室する。キャプテンは最後に控え室を出るようにし、使用場所の最終点検を済ませて退出する。また、控え室から出たら、必ず手洗いと洗顔を行う。
- ③手洗いと洗顔が終了した生徒から、順次体育館の外に出て、終礼のための待機を行う。使用場所(フロア・ステージ・控え室・トイレ・手洗い場等)や試合で使用した用具等の消毒を行う。
- ④各チームの顧問の指示に従って、体育館の外で密にならないように終礼し、解散する。